



## 刺繍と綿織物が注目の的

～「組合まつり in TOKYO」に2組合が出展～



「組合まつり」エントランス

8月30日、東京都・東京国際フォーラムで開催された「組合まつり in TOKYO」(主催・東京都中小企業団体中央会)に、本会から桐生刺繍商工業協同組合(村田欽也理事長)と館林織物連合協同組合(山岸清理事長)が出展した。今回の組合まつりは、東京都に拠点を置く組合に加え、「全国物産」のコーナーを設けて、全国各地の物産を広く紹介することで、出展した組合に新たなビジネスチャンスを生み出すことを目的に開催。

会場には、都内より45組合、全国物産コーナーに32組合が出展。出展した製品について来場者に熱心に語りかけるとともに、各ブー



桐生刺繍商工業(協)のブース

ス間での交流も行われ、活気に満ちた一日となった。

本県から出展した桐生刺繍商工業(協)では、刺繍を施した半纏やTシャツに加え、ワッペン等の刺繍小物等を展示販売。同ブースには、亀山豊文桐生市長も応援に駆け付け、桐生刺繍を直接PRする場面も見受けられた。

館林織物連合(協)では、館林つむぎの風合いを生かしたカジユアルシャツや各種小物、反物等の展示販売を行った。同ブースには、高品質で独自の風合いを醸し出す館林つむぎを、反物で買い求める目的の肥えた和装愛好者が次々に訪れていた。

また、両ブースには、主催であ



館林織物連合(協)のブース

る東京都中央会の大村功作会長や京都府中央会の渡邊隆夫会長らが相次いで訪れ、高度な技術に支えられた刺繍製品や館林つむぎに見入っていた。

村田理事長は、「今回の出展により、全国各地の組合に桐生刺繍の魅力をPRできた意義は大きい。また、ビジネスに結びつくような相談も寄せられ、県外展示会の重要性を再認識した一日となった」と出展の成果を語った。

また、山岸理事長も「久々の県外展示会だったが、反物を買求める来場者が相次ぐなど、首都圏の和装愛好者の厳しい目にもかなう確かな品質であると認めていただけただよ」満足そうな表情を浮かべていた。

# 官公需確保対策地方推進協議会

官公需における中小企業・小規模事業者向けの契約目標額は3兆8,185億円



## 《平成29年度に新たに講じる主な措置》

### ① 知的財産権の取扱いの明記

中小印刷業界からの要望を踏まえ、印刷物等のイラストやデザインなどの著作権等知的財産権にかかる価値について十分に留意した契約内容とするように努める旨を明記。今後、「官公需契約の手引」の解説に改正の趣旨を明記するとともに、啓発のためのチラシを作成し、周知を行う。

### ② 中小企業・小規模事業者の資金繰りへの配慮

清掃、警備、自動車運行等の人件費比率の高い役務契約において、毎月払い等の部分払いを推奨することにより、資金繰りの厳しい中小企業・小規模事業者の健全な事業運営に配慮する旨を明記。

### ③ 最低賃金額の改定に伴う契約金額の見直し

人件費比率の高い役務契約であって人件費単価が低い業務（清掃、警備、自動車運行等）において、年度途中の最低賃金額改定時に契約金額の見直しを検討することにより、官公需において最低賃金額の遵守に努めるよう明記。

8月30日、前橋市・群馬県庁において官公需確保対策地方推進協議会を開催した。本協議会は、官公需における中小企業者の受注機会の増大を図ることを目的に毎年開催している。当日は、発注側の行政や受注側の協同組合等より34名が出席した。

佐藤氏は、新たに基本方針に盛り込まれた措置の内容（左表参照）や、平成29年6月からは「物品納入」と「工事」両方の官公需適格組合証明の取得が可能になったこと、さらに官公需情報を提供しているWebサイトについて紹介を行った。

続いて、群馬県産業経済部産業政策課補佐・八木則之氏が「群馬県における中小企業者のための官公需確保対策」について説明を行った。



協議会の様子

八木氏は、今年度、群馬県では中小企業者向け発注目標を90%に設定し、必要に応じて関係部局等から改善に向けた取組みについて聴取を行うなど、全庁を挙げて発注率の向上に努めていくことについて言及した。

次いで、本会業務課の八木雅人主幹が「中央会の官公需関連事業」について説明を行った後、官公需適格組合の証明を受けている群馬石積協同組合の橋本新一理事が、組合の共同受注事業拡大に向けた活動状況について報告を行った。この中で橋本氏は、発注者側の官公需適格組合制度に対する一層の理解と中小企業組合の積極的な活用を訴えた。